

STAGE+を楽しむ(11)(HP 収載)
—ネルソンスのベートヴェン第9—

1. 始めに

前報(10)に引き続き、STAGE+の試聴を実施します。

2. 試聴音源

STAGE+の最新収録情報から、アンドリス・ネルソンス指揮ライブチッヒゲヴァントハウスのベートヴェン第9を選びました。

Nelsons conducts Beethoven's Ninth in Leipzig

Gewandhausorchester, Gewandhaus Leipzig

Soloists

Christiane Karg (Soprano),

Wiebke Lehmkuhl (Mezzo-Soprano)

Mauro Peter (Tenor),

Andre Schuen (Baritone)

Ensembles

Gewandhausorchester Leipzig,

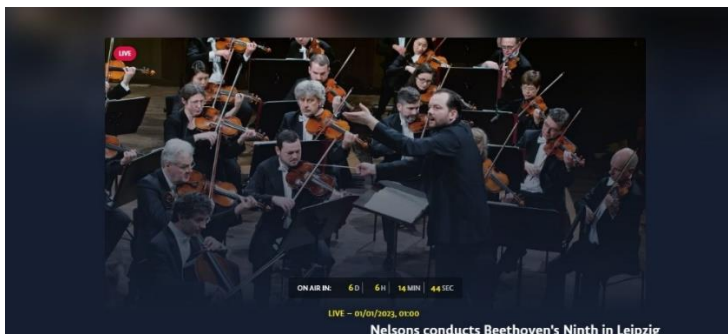
MDR Rundfunkchor

GewandhausChor

GewandhausKinderchor

Conductor

Andris Nelsons

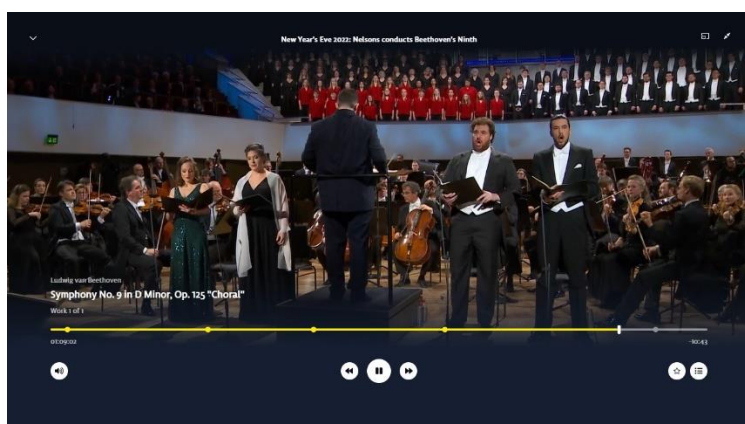
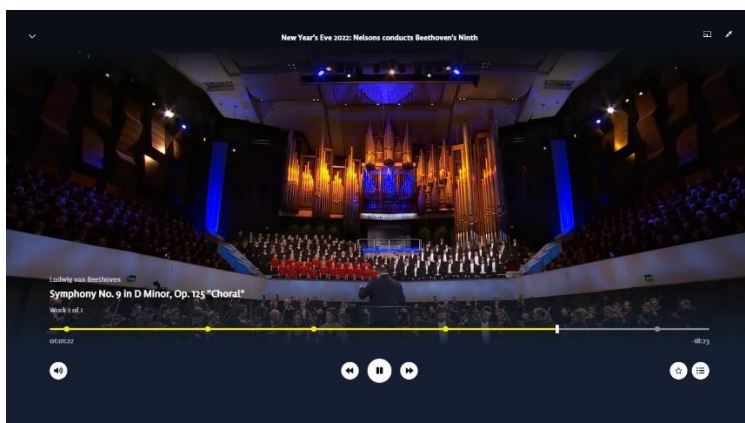
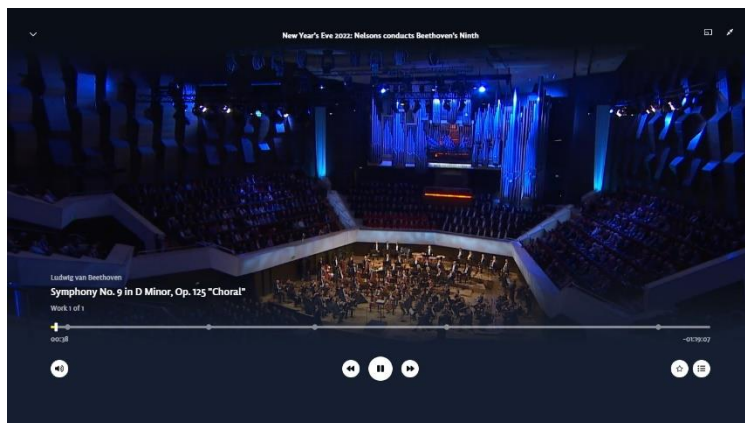


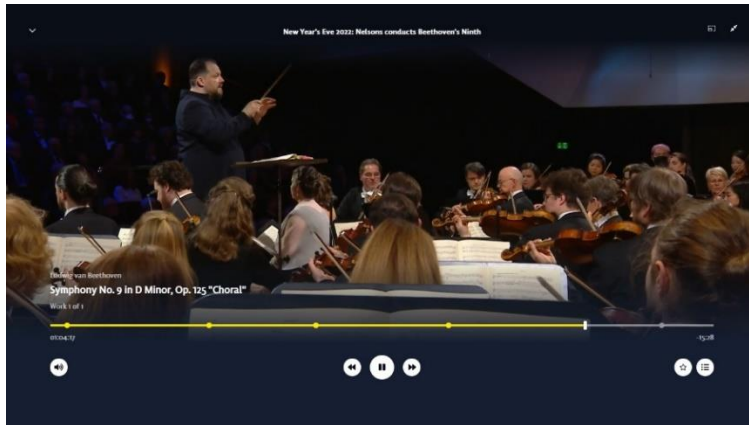
今回から、再生経路の仮想アースに加えて、電磁波吸収テープ NRF-005T の導入(17)で報告した LAN ケーブルへの NRF-005T の適用を行っており、STAGE+の再

生時には、ルーター／スイッチングハブ間およびスイッチングハブ／PC間のLANケーブルへの処理が関係しています。

3. 試聴の経過

新規の画像付き音源のリストから上記のプログラムを選択して再生していきます。





さすが本場の第9という印象で、ネルソンスも派手なアクションはないものの、オーケストラ、ソリスト、合唱陣の実力を十分に引き出しています。

ゲヴァントハウスは、ワインヤード式の大ホールですが、コントラバスの合奏やティンパニの連打も明瞭であり、ソリストの歌唱もよく通り、合唱も迫力満点です。このような演奏を居ながらにして楽しめるのは技術の進歩のおかげであり、受け手の方の対策の効果もあつてのことだと思えます。

ネルソンス指揮ライブチツヒゲヴァントハウスの演奏は2019年来日時のブラームスの1番を聴いていますが、実力のほどは改めて理解できました。

4. まとめ

ネルソンス指揮ライブチツヒゲヴァントハウスのベートヴェンの第9の演奏の最新収録を視聴し、仮想アースや NRF-005T の効果を確認できました。

以上